

令和 7 年度 第 2 回恵庭市文化財保護委員会資料

令和7年度 郷土資料館事業報告

	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容（簡潔に記入）	決算額 (千円)	備考
展示事業	令和5・6年度 市内遺跡発掘調査成果展	4月19日～6月15日 (46日間)	郷土資料館	1,207人 (2,118人)	令和5・6年度に発掘調査を行った市内遺跡の遺物の実物や遺構の写真等を展示。	8	(小中学生 318名)
	企画展「恵庭～昭和のあゆみ」	7月5日～8月24日 (41日間)	郷土資料館	1626人 (-)	令和7年が昭和100年目となることから、64年間続いた「昭和」という時代にスポットを当て、収蔵資料とともに恵庭のできごとを紹介。	0	(小中学生 401人)
	企画展「特別公開2025 カリンバ遺跡重要文化財 漆塗り装身具」	9月13日～9月15日 (3日間)	埋蔵文化財 整理室	85人 (195人)	年に1度、カリンバ遺跡の大型合葬墓3基から出土した漆塗り装身具の実物を公開・展示する。同時に市内遺跡ミニ展示「西島松5遺跡の連珠」も行った。	3	(小中学生 4人)
	企画展「副葬された金属製品～ 西島松5遺跡とユカンボンE7遺 跡」	10月25日～12月21日 (62日間)	郷土資料館	776人 (1,400人)	6～9世紀の金属製品が出土した西島松5遺跡とユカンボンE7遺跡のお墓と出土品等を比較して展示。	10	(小中学生 258名)
	令和6・7年新収蔵資料展	1月4日～2月1日 (23日間)	郷土資料館	301人 (R5:208人)	令和6・7年の2カ年中に市民の皆様より寄贈を受けた29件 223点の資料の内、80点を紹介。	0	(小中学生 85人)
	ひな人形展	2月7日～3月8日 (23日間)	郷土資料館	962人 (773人)	これまでに寄贈を受けた明治から平成までの9組のひな人形を展示。	0	(小中学生 408人)
	常設展示室入替展 「戦争資料展」	8月1日～8月28日 (23日間)	郷土資料館	821人 (619人)	常設展示室「昭和コーナー」を一時撤収し、市民より寄贈を受けた戦争関連資料 約70点を展示	0	(小中学生 205人)
	企画展「アイヌ文化マスター育 成事業成果展」	3月14日～4月5日 (23日間)	郷土資料館	一人 (251人)	令和7年度、アイヌ文化マスター育成事業に参加した小学生5名が学んだことを、写真と感想文を使用して公開する。	20	(小中学生 一名)

令和7年度 郷土資料館事業報告

アイヌ政策推進交付金事業	アイヌマスタ―育成事業	7月～2月（計8回）	郷土資料館他	小学生5人	市内に在住する小中学生のうち公募した5人が、計8回の講座や体験でアイヌ文化を学ぶ。	1,080	（小中学生5人）
	ムックリ製作体験事業	7月26日	郷土資料館	15人（一）	市民を公募し、恵庭アイヌ協会長を講師としてムックリ作りを実施。	10	（小中学生0人）
	アイヌ文化学習見学会事業	8月3日	白老町	26人（29人）	市民を公募し、白老町の国立アイヌ民族博物館で内田副館長の解説を受けて、アイヌ文化を学ぶバスツアーを実施。	109	（小中学生0人）
教育普及事業	第3回アイヌ文化講演会	11月30日	市民会館	55人（74人）	演題：「アイヌ文化における自然資源の利用と食文化」 講師：文化庁 調査官 内田 祐一 氏	21	（小中学生0人）
	カリンバ土曜講座①	4月19日	郷土資料館	19人（27人）	演題：「『令和5・6年度 市内遺跡発掘調査成果展』を中心とした遺跡の解説」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 鈴木将太	2	（小中学生0人）
	カリンバ土曜講座②	11月29日	郷土資料館	20人（35人）	演題：「西島松5遺跡とユカンボシE7遺跡の鉄製品のすごさは」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 長町章弘	0	〃
史跡普及事業	カリンバ土曜講座③	1月24日	郷土資料館	29人（24人）	演題：「漁太の番屋と船着場はどこにあったのか」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 大林千春	0	〃
	カリンバ土曜講座④	3月7日	郷土資料館	24人（21人）	演題：「西島松5遺跡とユカンボシE7遺跡の比較を保存科学の視点で」 講師：国立アイヌ民族博物館 研究員 大江 克己氏	11	〃
	第12回カリンバ講演会	5月10日	市民会館	49人（70人）	演題：「北海道の縄文・続縄文社会とカリンバ遺跡」 講師：オホーツクミュージアムえさし 館長 高畠 孝宗氏	49	〃
及重文事業	重要文化財指定記念シンポジウム「西島松5遺跡」～古代恵庭の実像に迫る～	10月13日	市民会館	120人（一）	北海道大学アイヌ・先住民研究センター 准教授の藁島栄紀氏など計4名の研究者をお招きし、令和6年8月に重要文化財に指定された西島松5遺跡出土品に関する講演やパネルディスカッションを行った。	350	〃
普及事業	学芸員による展示解説	5月から3月の計12回	郷土資料館	226人（151人）	毎月1回資料館の学芸員が展示解説	2	—

令和7年度 郷土資料館事業報告

見学会	第3回千歳・恵庭の遺跡を歩こう ～キウスVS西島松編	5月25日	キウス周堤 墓と西島松 遺跡群	27人 (30人)	恵庭市と千歳市の遺跡をウォーキングしながら、両市の遺跡調査員の解説を聞く。	2	(小中学生 3人)
	ふるさと散歩見学会 「古里チョイ散歩」	6月28日 7月12日 8月23日	見学地：市 道恵庭線	13人 (10人)	郷土資料館ボランティア事業。 郷土資料館ボランティアが案内ガイドを務め、市道恵庭線沿の歴史的ゆかりのある場所を少人数で訪ね歩く。	0	(小中学生 0人)
	自然観察会	5月24日	黄金地区カ リンバ遺跡 とその周辺	12人 (16人)	国指定史跡カリンバ遺跡とその周辺の野鳥を中心に観察し、合わせてカリンバ遺跡について学習。	5	(小中学生 0人)
観 察 会	漁川の生きもの観察会	8月2日	漁川あかね 橋上流むつ み公園駐車 場付近	15人 (13人)	漁川に生息する魚や水生昆虫なども網で捕獲し、観察を行う。	0	(小中学生 8人)
	昔の道具体験コーナー	4月27日～5月6日	郷土資料館	自由参加事業	収蔵資料の中から唐箕、石臼、竿ばかり等の資料を実際に動かし、体験する。	0	
体 験 学 習 会	第12回カリンバまつり ～君も縄文人になろう！	7月26日	郷土資料館	198人 (244人)	市民を公募し、勾玉作り、縄文土器作り等を実施。	53	(小中学生 約6割)
	粘土でランタンづくり体験	8月8日 8月9日	郷土資料館	16人 (20人)	郷土資料館ボランティア事業。粘土で土器を作っていた大昔の人たちの生活の一端に触れようと、粘土でランタンづくりを体験。	0	(小中学生 7人)
	黒曜石カービング体験	10月11日	はなふる	12人 (14人)	郷土資料館ボランティア事業。大昔の石器の材料として知られる黒曜石の破片にガラス工芸用のペンで模様や文字を描く。	0	(小中学生 4人)
	クイズ&スタンプラリー2025	8月1日～11日	郷土資料館	65人 (119人)	夏休み事業。館内のスタンプを押し、企画展「恵庭～昭和のあゆみ」に関するクイズに正解するとガチャ機から野鳥・動物の展示資料の缶バッジを配布。	0	(小中学生 65人)
	ふるさと教育宅配事業	6月～10月	市内小学校	市内小学生	郷土資料館収蔵資料の内、食べることに関係ある道具・冬の道具・アイヌの人たちの道具・大昔の道具を市内の8小学校に貸出し、巡回して展示を行う。	34	

令和7年度 郷土資料館事業報告

教育普及事業	レファレンス	レファレンスの実施					約 10件 主な内容： ・旧陸軍の施設について ・記念碑について ・西島松5遺跡について 等		
資料収集	資料収集	自然・郷土資料の収集					自然資料： 歴史資料： 酢の保存用瓶等の生活用具 電話番号札 大正時代の中央・春日地区の写真 等 全17件 105点 (2/28現在)		
		郷土史及び高齢者の記憶にのこる歴史的事柄の記録					収蔵資料管理データベースの整備 ・検索のための資料名、年代などの用語統一 ・資料の所在確認 市民より寄贈を受けた8ミリフィルムのデジタル変換及び編集作業 (56本変換終了)		
史跡整備	資料収集	収集資料の電子化					5月24日（土）に市教委と近隣住民、カリンバの会の協力を得て行った。参加人数は延べ43名。	30	
		・ごみ拾い、花植え					業者委託。6月と8月の年2回実施。	1,925	
		・草刈り ・水文環境調査					別紙参照。		
周知・刊行物	周知・刊行物	事業の周知					・1事業につきポスター・チラシを約70カ所に配布 配布先＝ 市内公共施設 小中学校 JR駅 デイサービスセンター グループホーム ・市広報 市ホームページ 市LINE 新聞 タウン情報誌に情報掲載 ・転入者に対する利用案内 市民課を通じて来館者用リーフレット配布 (年500部)		
		刊行物					・資料館だより (4回) 配布先＝ 市内公共施設 小中学校等 (各回280部)		
啓発活動	啓発活動	館内説明案内サービス					随時実施		
		学校教育等との連携					・昔の人の道具調べ (小学3年生の社会科単元) 6校 (市内5校 市外1校) 来館		

2月末総入館者数	6,574 人 (6,734人)
----------	----------------------

館外行事等参加者数 (R7.9月～R8.2月末)	事業	5件	217 人
	対応	4件	137 人
	合計	9件	354 人

令和7年度 史跡・重要文化財・アイヌ政策関連の主な事業

1. 史跡カリンバ遺跡整備事業

(1) 史跡カリンバ遺跡整備検討委員会

- ①概要：史跡整備の実施設計の検討、及び今後の史跡整備を検討するため開催
- ②開催日：第1回令和7年5月30日、第2回令和8年1月27日（オンライン）
- ③経費：256千円（国補助金1/2、道補助金1/4、市単独費1/4）

(2) 史跡カリンバ遺跡整備実施設計委託

- ①概要：令和8年度の史跡現地整備に向けて、実施設計を委託（別紙「R8・9史跡整備平面図」参照）
- ②経費：5,874千円（国補助金1/2、道補助金1/4、市単独費1/4）
- ③業者：北海道造園設計（株）

(3) 史跡カリンバ遺跡説明板再建工事

- ①概要：史跡説明板が倒壊したことから、盤面等は再利用して再建
- ②経費：181千円（市単独費）
- ③業者：（有）北海道パークシステム

(4) 史跡関連用地倒木伐採委託

- ①概要：史跡等の危険木1本伐採
- ②経費：39千円（市単独費）
- ③業者：（同）牧場造園

(5) 史跡等立木伐採委託

- ①概要：史跡等の危険木・支障木を4本伐採
- ②経費：261千円（国補助金1/2、道補助金1/4、市単独費1/4）
- ③業者：（同）牧場造園

(6) 史跡等立木剪定委託

- ①概要：史跡等から歩道や車道にはみ出している木の内、建築限界に抵触する枝を剪定
- ②経費：278千円（市単独費）
- ③業者：（同）牧場造園

(7) 史跡カリンバ遺跡サイン類等部材購入事業

- ①概要：史跡整備で使用する説明板や解説板等サイン類6基とベンチ2基を先行して購入
- ②経費：4,257千円（国補助金1/2、道補助金1/4、市単独費1/4）



史跡カリンバ遺跡説明板再建工事

③業者：札幌斉藤木材（株）

（8）カリンバ遺跡史跡等水文環境調査

①概要：資料館学芸員がボーリング孔の地下水位や旧カリンバ川三角堰の流量を月1回計測した。
水位や水量の著しい変化はなかった

②経費：0円

2. 西島松5遺跡出土品重要文化財指定関連

令和6年8月に新たに西島松5遺跡出土品218点（金属製品155点、土器62点、琥珀玉1点）が重要文化財に指定された。それを記念して、下記の保存・公開事業を実施

（1）西島松5遺跡出土金属製品保存箱作製委託

①概要：金属製品133点を保管するアクリル製の保存箱11個の作製を委託

②経費：19,101千円（国補助金1/2、道補助金1/4、市単独費1/4）

③業者：（公財）元興寺文化財研究所

（2）西島松5遺跡重要文化財展示ケース作製委託

①概要：重要文化財の実物を通年展示できるように、
湿度を一定に保てるエアタイト展示ケースを作製

②経費：4,345千円（市単独費）

③業者：（株）クマヒラ

（3）西島松5遺跡出土品写真撮影委託

①概要：墓ごとの出土遺物集合写真20枚と刀剣類27
点の写真撮影をプロカメラマンに委託

②経費：935千円（国補助金1/2、道補助金1/4、市単独費
1/4）

③業者：（有）写真事務所クリーク



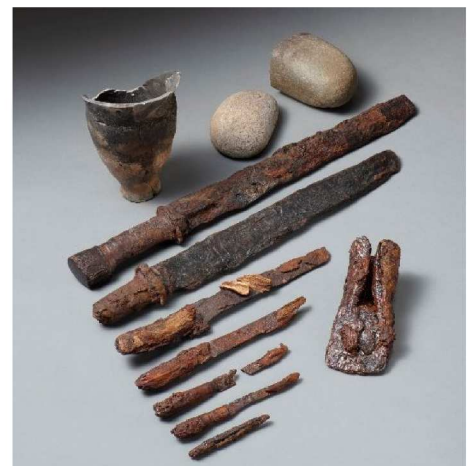
エアタイト展示ケース

（4）北海道西島松5遺跡出土品重要文化財パンフレット 作製委託

①概要：重要文化財普及啓発用のパンフレットを5,000部
作製

②経費：330千円（国補助金1/2、道補助金1/4、市単独費
1/4）

③業者：bosco



プロが撮影した重要文化財出土品

(5) 北海道西島松 5 遺跡出土品重要文化財写真集

作製委託

- ①概要：重要文化財の写真集を 1,000 部作製（R8 販売予定）
- ②経費：990 千円（市単独費）
- ③業者：（株）北海道機関紙印刷所

(6) 西島松 5 遺跡重要文化財大刀 3D モデリング作成委託

- ①概要：西島松 5 遺跡重要文化財のうち最も貴重な 7 世紀に近畿地方で作られた大刀の 3D モデリングとそれを元にした動画を作成する
- ②経費：380 千円（国補助金 1/2、道補助金 1/4、市単独費 1/4）
- ③業者：北海道地図株式会社札幌支店

(7) 重要文化財指定記念シンポジウム「西島松 5 遺跡」～古代恵庭の実像に迫る～

- ①日程：10 月 13 日（月・祝）
- ②会場：恵庭市民会館 3 階 中ホール
- ③概要：大学の講師や文化庁の調査官を招いてシンポジウムを開催。また写真パネルや実物資料（数点）の展示も同時開催し、120 名が参加
- ④経費：360 千円（国庫補助金 1/2、市単独費 1/2）



3. アイヌ政策推進交付金事業

(1) アイヌ文化マスター育成事業

- ①概要：市内の小学生 5 名が平取町や網走市などでアイヌ文化を学んだ。計 8 回の事業を通じて、アイヌ文化への正しい理解を深めることができた
- ②経費：1,080 千円（国補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(2) アイヌ文化学習見学会事業

- ①概要：公募した参加者 28 名をバスで白老町の国立アイヌ民族博物館に引率した。副館長の内田委員長に解説を依頼し、アイヌ文化を深く学べる機会を提供した
- ②経費：109 千円（国補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(3) アイヌ文化講演会事業

- ①概要：アイヌ民族の文化や歴史に対する理解を広げるため、昨年に引き続き文化庁の内田調査官に講師をお願いし、「アイヌ文化における自然資源の利用と食文化」と題するご講演をいただいた
- ②経費：21 千円（国補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(4) ムックリ製作体験事業

①概要：公募した参加者 15 名にムックリ製作体験をしてもらい、アイヌ文化に触れていただいた

②経費：9 千円（国補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）



アイヌ文化マスター育成事業の様子



アイヌ文化講演会の様子

4. カムイノミ・イチャルパの実施について

(1) カムイノミ・イチャルパの実施について

10 月 5 日（日）に恵庭アイヌ協会は遺骨の地域返還に係るカムイノミ・イチャルパ（神々への祈り・先祖供養）を恵庭市埋蔵文化財整理室で行いました。恵庭市は会場設営や当日の運営等で協力しました。



カムイノミ・イチャルパの様子

令和 7 年度 埋蔵文化財関連の主な事業（3 月 11 日現在）

○市内遺跡発掘調査等事業

1. 発掘調査

概要：和光町 4 丁目のユカンボシ E12 遺跡に該当する区域と、和光町 5 丁目のユカンボシ E11 遺跡に該当する区域において住宅建築工事の事前に発掘調査を実施しました。
経費：10,254 千円（国庫補助金 1/2・道補助金 1/4・市一般財源 1/4）

（1）ユカンボシ E12 遺跡

調査目的：個人住宅建築に伴う記録保存調査
調 査 地：和光町 4 丁目 625-2 調査面積：142 m²
調査期間：5 月 27 日～7 月 11 日
整理期間：12 月 1 日～3 月 31 日
遺構：土坑 25 基・焼土 1 基 遺物：土器 1,600 点・石器等 750 点

（2）ユカンボシ E11 遺跡

調査目的：個人住宅建築に伴う記録保存調査
調 査 地：和光町 5 丁目 530-11 調査面積：75 m²
調査期間：7 月 18 日～7 月 31 日
整理期間：12 月 1 日～3 月 31 日
遺構：竪穴住居跡 1 基・土坑 1 基 遺物：土器 400 点・石器等 800 点

2. 埋蔵文化財保護のための事前協議に係る試掘・所在調査

概要：工事計画地が埋蔵文化財包蔵地（遺跡）に該当する場合などに、工事計画地における埋蔵文化財の有無・規模・内容などを確認し、工事が埋蔵文化財に与える影響を勘案し、発掘調査等の必要性の有無を判断することを目的として事前協議を行っています。埋蔵文化財包蔵地の該当有無の照会は 103 件、事前協議は 24 件あり、このうち試掘調査 8 件、所在調査 3 件の調査を実施しました。
経費：40,170 千円（国庫補助金 1/2・道補助金 1/4・市一般財源 1/4）

（1）西島松地区

調査目的：新市街地検討に伴う試掘調査
調 査 地：西島松地区 調査面積：98,000 m²（試掘面積：1×2m×203 個）
調査期間：8 月 4 日～10 月 24 日
遺構：竪穴住居跡 5 基・土坑 1 基・焼土 2 基 遺物：土器 150 点・石器等 550 点
縄文時代の集落を新規に発見

（2）戸磯地区

調査目的：新工業団地検討に伴う試掘調査
調 査 地：戸磯地区 調査面積：23,000 m²（試掘面積：1×2m×107 個）
調査期間：11 月 5 日～11 月 28 日
遺構：土坑 1 基・落とし穴 1 基 遺物：土器と石器等 30 点

（3）ユカンボシ E2 遺跡

調査目的：不動産売買に伴う試掘調査
調 査 地：和光町 5 丁目 498-11・25 調査面積：535.11 m²（試掘面積：1×2m×2 個）
調査期間：5 月 19 日
遺構：なし 遺物：石器 1 点 調査結果：要工事立会

(4) ユカンボシE11 遺跡

調査目的：区画造成に伴う試掘調査

調査地：和光町5丁目495-1 調査面積：2,520.39 m² (試掘面積：1×2m×8 個)

調査期間：5月19日

遺構：なし 遺物：なし 調査結果：工事着工可

(5) 茂漁5 遺跡(隣接地)

調査目的：アパート新築に伴う試掘調査

調査地：幸町2丁目449-2・449-24 調査面積：983.8 m² (試掘面積：1×2m×10 個)

調査期間：5月20日

遺構：なし 遺物：なし 調査結果：工事着工可

(6) ユカンボシE3 遺跡

調査目的：蓄電所建設に伴う試掘調査

調査地：戸磯455-1 ほか 調査面積：4,438 m² (試掘面積：1×2m×21 個)

調査期間：5月21・22日

遺構：なし 遺物：土器7点・石器等2点 調査結果：要発掘調査・要工事立会・要慎重工事

(7) ユカンボシE1 遺跡

調査目的：個人住宅建築に伴う試掘調査

調査地：恵南6-69 調査面積：508.72 m² (試掘面積：1×2m×2 個)

調査期間：11月10日

遺構：なし 遺物：なし 調査結果：要慎重工事

(8) ルルマップ川2 遺跡

調査目的：送電鉄塔新設に伴う試掘調査

調査地：西島松163-3 調査面積：100 m² (試掘面積：1×1.5m×1 個)

調査期間：12月19日

遺構：なし 遺物：なし 調査結果：要慎重工事

(9) ユカンボシE11 遺跡

調査目的：個人住宅建築に伴う所在調査

調査地：和光町5丁目530-11 調査面積：671.31 m²

調査期間：6月2日

調査結果：要発掘調査・要工事立会・要慎重工事

(10) 埋蔵文化財包蔵地外

調査目的：倉庫新設に伴う所在調査

調査地：戸磯345-6 調査面積：29,955.24 m²

調査期間：12月24日

調査結果：工事着工可

(11) 茂漁2 遺跡

調査目的：既存建築物解体に伴う所在調査

調査地：恵央町20-4 調査面積：381.81 m²

調査期間：3月3日

調査結果：要慎重工事

4. 金属製品保存処理事業

概要：市内の遺跡から出土したアイヌ文化期の腕輪 1 点の再保存処理を実施しました。

経費：348 千円（国庫補助金 1/2・道補助金 1/4・市一般財源 1/4）

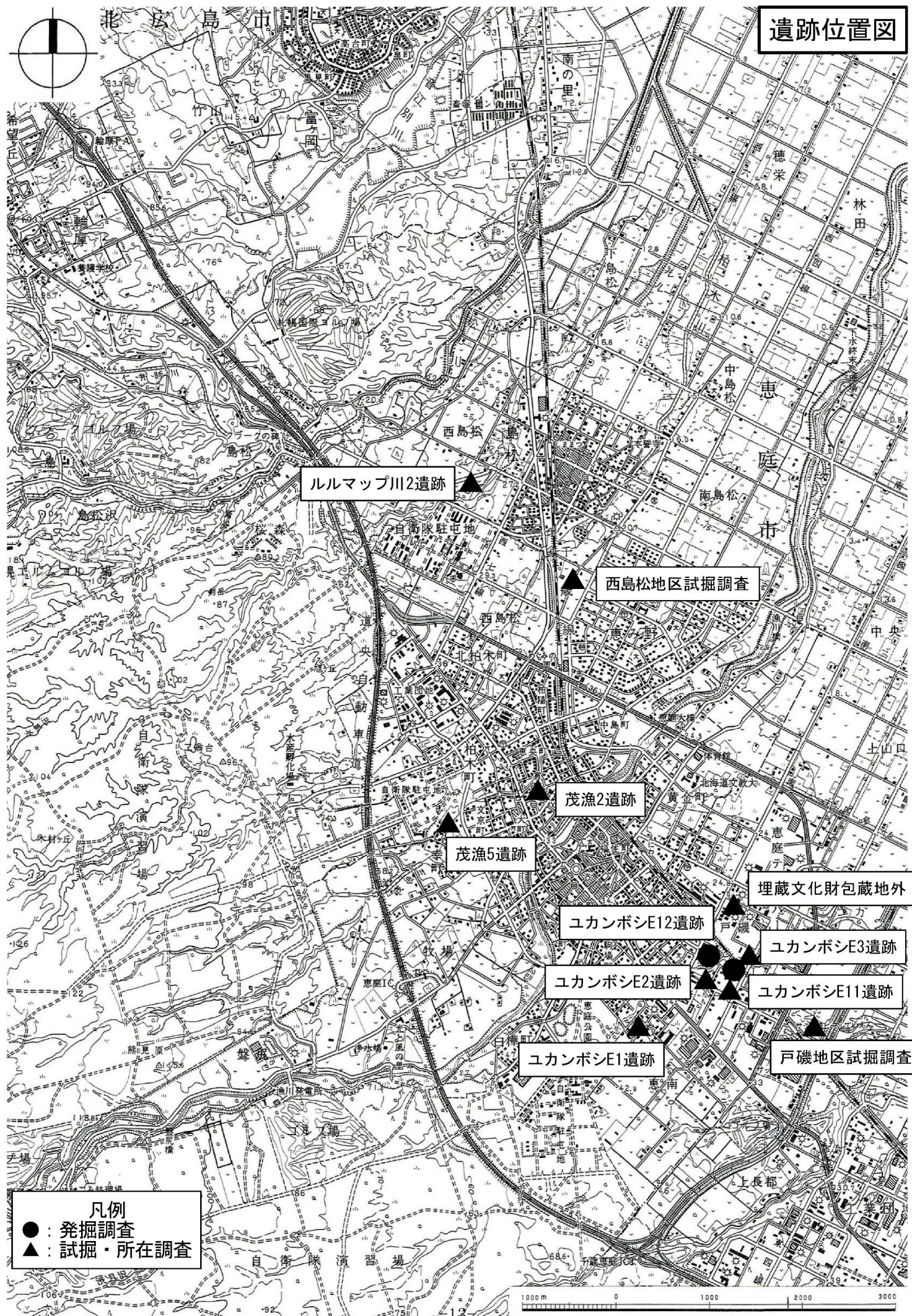


ユカンボシ E12 遺跡 玉出土状況



ユカンボシ E11 遺跡 竪穴住居跡

遺跡位置図



令和 7 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

行 事 名 称	第 72 回文化財防火デー 恵庭市郷土資料館防災訓練
実施期間・日時	令和 8 年 1 月 27 日（火） 9 : 30~9 : 45
実 施 場 所	恵庭市郷土資料館（恵庭市南島松 157-2）
主 催 者	恵庭市教育委員会 恵庭消防署島松出張所

■実施内容

訓練の想定

地震発生により、館内研修室電気温水器から出火、館内の火災報知器が作動されたことにより、119 番通報、初期消火及び文化財の保護・搬出、来館者の避難誘導訓練を行う。

訓練の内容

郷土資料館職員による火災発見、初期消火、通報、来館者の避難誘導、重要文化財（模擬）の搬出訓練を実施

参加者及び役割分担

恵庭市教育委員会

恵庭市郷土資料館（9 名）：初期消火・119 番通報・来館者の避難誘導・重要文化財の搬出

恵庭消防署島松出張所（6 名）：全体総轄 講評

特に工夫した点

日頃から危機管理意識を高められるよう、文化財の搬出については、キャスター付き展示ケースに入った状態でケースごと移動・搬出を行い、より実際の行動に近い状態を意識した。

問題点・課題

- ・団体見学者など多数の来館者が見学中の際の避難誘導・資料搬出の想定手順の確認
- ・搬出資料リストの確認と情報共有
- ・避難誘導の際、来館者の避難状況の確認の徹底（特にトイレの確認）

その他

文化財防火デーに隔年で訓練を実施し、職員相互に防災意識を高め、特に来館者の避難誘導と文化財の搬出を意識的に実践し、その必要性を再確認する機会としている。

訓練風景

別紙のとおり



重要文化財の搬出



来館者の避難誘導



消防による講評

令和8年度郷土資料館事業計画（案）

展示事業

No.	事業名	期日	対象	趣旨
1	常設展示	通年	一般	郷土の自然・歴史・文化の展示解説（戦争資料展 他）。
2	重要文化財展（常設）	通年	一般	平成18年に国の重要文化財に指定されたカリンバ遺跡墓坑出土品（縄文時代）と令和6年に国の重要文化財に指定された西島松5遺跡墓坑出土品中心に展示。
3	（仮）コレクション展「子どもの雑誌展」	4月25日～6月14日	一般	収蔵資料の中から子ども用の雑誌や付録を中心に紹介。
4	（仮）企画展「道央の縄文環濠」	7月4日～8月30日	一般	縄文の円形の環濠は道央部の3遺跡でのみ発見されている。その恵庭市島松沢8遺跡、千歳市丸子山遺跡、苫小牧市静川遺跡の発掘調査で出土した考古資料や写真等を展示
5	特別公開2026国指定重要文化財カリンバ遺跡出土品展及び市内遺跡ミニ展示	10月10日～12日	一般	埋蔵文化財整理室において普段は展示していないカリンバ遺跡出土の重文の漆製品（実物）を特別公開。市内遺跡で見つかった遺物のミニ展示も実施。
6	コレクション展「羽釜とおひつ」	10月3日～12月13日	一般	収蔵資料の中から羽釜とおひつを中心に紹介。
7	企画展「アイヌ文化マスター育成事業成果展」	1月9日～31日	一般	市内の子供たちがアイヌ文化を学ぶ「アイヌ文化マスター育成事業」7月から12月に計6回実施する。アイヌ語の学習やムックリ製作体験、アイヌ文化関連施設の見学などを行うが、参加者の感想文や受講時の様子を撮影した写真を展示。
8	ひな人形展	2月6日～3月7日	一般	これまでに寄贈を受けたひな人形9組を展示。

教育普及事業

No.	事業名	期日	対象	趣旨
1	見学会・講座			
(1)	ふるさと散歩見学会「古里チョイ散歩」	6月～10月	一般	ボランティア共催事業。市内の歴史的スポットを見学。
(2)	千歳・恵庭の遺跡を歩こう	5月16日		恵庭と千歳の遺跡を埋文調査員がウォーキングしながら解説。
(3)	カリンバ講演会	5月17日		史跡カリンバ遺跡に関する講演。
(4)	カリンバまつり	7月25日		土器作り、勾玉作りなどを実施。
(5)	郷土資料館歴史講座	8～3月		郷土資料館学芸員が数回の講座を実施。
(6)	学芸員による展示解説	4～3月		郷土+資料館学芸員が毎月一回計12回の展示解説を実施。
2	観察会			
(1)	自然観察会	5月	一般	カリンバ遺跡周辺の野鳥を中心とする自然観察。
(2)	漁川の生きもの観察会	8月	小中学生	市内の川に生息する魚類・水生昆虫の観察。
3	体験学習会			
(1)	モノづくり体験	8月・10月	一般	粘土や黒曜石を使ったモノづくりを体験する。
(2)	昔の道具体験	5月	小中学生	収蔵資料の中から安全に動かすことができる資料を選択し、体験する。
(3)	昔のあそび体験	5～10月	小中学生	屋外やホールで使用可能なもののみ実施する。

4 レファレンス				
(1)	レファレンスの実施	随時	一般	郷土の自然・歴史・文化にかかる市内外からの問い合わせに対して、調査し回答を行う。
5 資料活用				
(1)	ふるさと教育宅配事業	8～10月	市内小学校	ふるさと教育の一環として、収蔵資料の内、貸出し対象資料となっている資料を各小学校に巡回させながら配送し、利活用の拡充を図る。
6 アイヌ施策推進交付金事業				
(1)	アイヌ文化マスター育成事業	7～12月	市内小中高生	市内の市内小中高生がアイヌ語や恵庭市、新ひだか町などのアイヌ文化を学ぶ。
(2)	アイヌ文化学習見学会事業	10月3日（予定）	一般	バスで引率し、新ひだか町でアイヌ文化を学ぶ。
(3)	ムックリ製作体験事業	7月25日	一般	ムックリ製作体験を通じてアイヌ文化に親しんでいただく。

資料収集

No.	事業名	期日	対象	趣旨
1	自然資料収集	通年		自然情報の収集保存。
2	郷土資料収集	通年		郷土資料の収集保存整理。
3	郷土史に関する調査	通年		聞き取り調査・写真による記録保存。
4	高齢者の記憶に残る歴史的事柄の記録	通年		個人が実際に体験し、記憶の中に残っている恵庭の歴史を「個人の記憶の記録」として保存。
5	収集資料のデジタル化	通年		収蔵資料のデジタル化を進め、事務の効率化を図るとともに資料公開に備える。

史跡整備

No.	事業名	期日	対象	趣旨
1	史跡整備 （①ごみ拾い、②花植え、③草刈り）	4～10月		①②春に地元町内会等と合同で実施 ③年2回（6・8月）業者委託で実施
2	北海道縄文のまち連絡会	8月（予定）	加盟30市町村	夏に札幌市で総会

周知・刊行物

No.	事業名	期日	対象	趣旨
1	市広報誌、新聞等の活用	随時		
2	資料館ホームページの充実と活用	随時		
3	郷土資料館だよりの発行	年4回		郷土資料館の事業案内を活動紹介。
4	郷土資料館年報の発行	隔年 1回		郷土資料館の事業報告。
5	小学校へのチラシ配布	年1回		郷土資料館の事業案内。
6	転入者に対する利用案内	通年	一般市民 （転入者）	転入者に対して恵庭市を理解するための学習施設の存在をPRする。

啓発活動

No.	事業名	期日	対象	趣旨
1	館内説明案内サービス	随時	一般	館内説明の充実。
2	学校教育等との連携	通年	一般	学校教育・社会教育学習団体に対する利用促進の働きかけ。

令和 8 年度 史跡・重要文化財・アイヌ政策関連の主な事業

1. 史跡カリンバ遺跡整備事業

(1) 史跡カリンバ遺跡整備検討委員会

- ①概要：令和 8・9 年度に実施する史跡現地整備の検討等のため、夏・冬の 2 回委員会を開催予定
- ②経費： ■ 千円（国補助金 1/2、道補助金 1/4、市単独費 1/4）

(2) 史跡カリンバ遺跡整備工事

- ①概要：令和 8・9 年度に史跡現地整備を行う。初年度は旧サイロの撤去や旧溜め池の埋め戻し、駐車場やサイン類、園路の基礎工事等を実施
- ②経費：補助対象分 ■ 千円（国補助金 1/2、道補助金 1/4、市単独費 1/4）
補助対象外分 ■ 千円（市単独費） 計 ■ 千円

(3) 史跡カリンバ遺跡解説用動画コンテンツ作成委託

- ①概要：郷土資料館や史跡への来場者が閲覧できる史跡カリンバ遺跡の動画を作成
- ②経費： ■ 千円（道補助金 1/2、市単独費 1/2）

(4) 史跡カリンバ遺跡看板用英語データ作成委託

- ①概要：郷土資料館や史跡へ来場した外国人が閲覧できる史跡カリンバ遺跡解説文の英語を作成
- ②経費： ■ 千円（道補助金 1/2、市単独費 1/2）

(5) カリンバ遺跡史跡等水文環境調査

- ①概要：資料館学芸員がボーリング孔の地下水位や旧カリンバ川三角堰の流量を月 1 回計測

2. 西島松 5 遺跡出土品重要文化財保存事業

(1) 蕨手刀再保存処理委託委託

- ①概要：蕨手刀 1 点が劣化したことから再保存処理を行う
- ②経費： ■ 千円（国補助金 1/2、道補助金 1/4、市単独費 1/4）

(2) 金属製品再保存処理等委託委託

- ①概要：金属製品 32 点の再保存処理やサンプリング箇所の調整等を行う
- ②経費： ■ 千円（国補助金 1/2、道補助金 1/4、市単独費 1/4）

(3) 土器保存修理委託委託

- ①概要：土器 16 点の保存修理を行う
- ②経費： ■ 千円（国補助金 1/2、道補助金 1/4、市単独費 1/4）

3. アイヌ政策推進交付金事業

(1) アイヌ文化マスター育成事業

①概要：市内の小中高学生 6 名が恵庭市や余市町などでアイヌ文化を学び、アイヌ文化への正しい理解を深め、本市の多文化共生社会の実現へとつなげます

②経費：■■■■千円（国補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(2) アイヌ文化学習見学会事業

①概要：公募した参加者をバスで新ひだか町のアイヌ文化関連施設に引率する。単なる見学会にならないようにするため解説を依頼し、アイヌ文化やアイヌと和人とのかかわりを深く学べる機会を提供する

②経費：■■■■千円（国補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(3) ムックリ製作体験事業

①概要：公募した参加者にムックリ製作体験をしてもらい、アイヌ文化に触れていただくことで多文化共生社会の実現を目指す

②経費：■■■■千円（国補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(4) アイヌ文化保存・継承環境整備事業

①概要：恵庭アイヌ協会が行う「カムイノミ・イチャルパ」等のアイヌ民族伝統儀式において不可欠な坏や坏台（各 12 個）、それらを載せるお膳（3 個）等を製作する

②経費：■■■■千円（国補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

4. カムイノミ・イチャルパの実施について

(1) カムイノミ・イチャルパの実施について

10 月 4 日（日）（予定）に恵庭アイヌ協会は遺骨の地域返還に係るカムイノミ・イチャルパ（神々への祈り・先祖供養）を恵庭市埋蔵文化財整理室で行う。恵庭市は会場設営や当日の運営等で協力する

令和 8 年度 埋蔵文化財関連の主な事業

○市内遺跡発掘調査等事業

1. 発掘調査

概要：恵み野里美 2 丁目の西島松 10 遺跡に該当する区域において、個人住宅建築工事の事前に発掘調査が 1 件あり、約 101.7 m²の発掘調査を実施する予定です。

経費： 千円（国庫補助金 1/2・道補助金 1/4・市一般財源 1/4）

2. 過年度調査の整理作業

概要：令和 7 年度に発掘調査を実施したユカンボシ E12 遺跡・ユカンボシ E11 遺跡の出土品整理作業を実施する予定です。

経費： 千円（国庫補助金 1/2・道補助金 1/4・市一般財源 1/4）

3. 埋蔵文化財保護のための事前協議・照会対応

概要：工事計画地が埋蔵文化財包蔵地（遺跡）に該当する場合などに、工事計画地における埋蔵文化財の有無・規模・内容などを確認し、工事が埋蔵文化財に与える影響を勘案し、発掘調査等の必要性の有無を判断することを目的として事前協議及び埋蔵文化財包蔵地の照会対応を行います。

照会：例年 120 件程度 事前協議：例年 20 件程度

4. 試掘調査

概要：埋蔵文化財保護のための事前協議に伴い民間事業等の小規模な試掘調査を 6 件見込んでいます。

経費： 千円（国庫補助金 1/2・道補助金 1/4・市一般財源 1/4）

5. 金属製品保存処理

概要：市内の遺跡から出土した金属製品 3 点の保存処理を予定しています。

経費： 千円（国庫補助金 1/2・道補助金 1/4・市一般財源 1/4）

6. 埋蔵文化財包蔵地台帳整備

概要：市内 140 か所の埋蔵文化財包蔵地の台帳整備（最新地籍データ・調査成果の反映）

7. 金属製品台帳整理

概要：500 点以上におよぶ市内遺跡出土金属製品の台帳整理を行い、将来的な再保存処理の基礎データとします。

8. 過去の工事立会記録の整理

概要：過年度の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事に伴う立会の記録を整理します。